

難病(希少性・難治性疾患)と障害 —中国の市民社会の取組

日時 2013年1月26日(土)

入場無料

午後1時—5時半(開場 午後12時半)

会場 東京大学本郷キャンパス

経済学研究科棟地下1階 第一教室

プログラム

13:00-13:10 代表者挨拶 松井彰彦

13:10-14:30 報告1「中国の難病患者(希少性・難治性疾患)の現状」

Huang Rufang氏(China-Dolls Center for Rare Disorders)

14:40-16:00 報告2「China-Dolls Center for Rare Disordersの活動」

Xiao Lei氏(China-Dolls Center for Rare Disorders)

16:10-17:30 報告3「障害と中国の市民社会」

Jiang Yitong氏(武漢大学公益発展法律研究センター)

*中日逐次通訳/文字通訳/手話通訳/磁気ループあり

車イスをご利用の方、介助者同伴の方、盲導犬同伴の方、
点字レジュメ、拡大文字レジュメ、磁気ループを
ご利用の方は、お申し込みの際に登録フォームにてお知らせください。

お問合せ: rease@e.u-tokyo.ac.jp

参加登録は <http://www.rease.e.u-tokyo.ac.jp/> よりREASE公開研究会ページへ



社会的障害の研究から経済理論や社会の歪みをみつめ、経済学を考える

REASE は経済と社会的排除の研究"Research on Economy And Social Exclusion"の頭文字をつなげたものです。「社会的障害」を共通するキーワードとして、2012年3月まで行っていた経済と障害の研究 READ="Research on Economy And Disability"から、その研究対象を長期疾病や児童養護といった問題にも広げた新たな取り組みです。REASEは科学研究費補助金基盤(S)「社会的障害の経済理論・実証研究」(課題番号 24223002)によってサポートされています*。

*一部の活動は、科学研究費補助金学術創成研究「総合社会科学としての社会・経済における障害の研究」(課題番号 19GS0101)その他の資金によってサポートされています。

Research on Economy And Social Exclusion
社会的障害の経済理論・実証研究

科学研究費基盤研究S

<http://www.rease.e.u-tokyo.ac.jp/>

研究代表者 東京大学大学院経済学研究科 松井彰彦